

学校経営目標：夢と希望をはぐくむ学校

教育目標： 考える子 思いやりのある子 やりぬく子

本宮市立本宮小学校

学校だより第 19 号

令和 4 年 12 月 6 日

校 長 穂山俊之



本小だより

2 学期のまとめを迎えて

「安達太良山が雪化粧」との便りがあり、一步一步、冬が近づいているのを感じます。

過日は、お忙しいところ「本校の教育活動に対するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。現在、結果を集計・分析しているところです。PTA 総会資料の中でお知らせする予定です。今しばらく、お待ちください。

さて、12月1日（木）から、個別面談を実施しております。保護者の皆様には、お忙しい中、お世話になります。この面談では、お子さんの学校や家庭での様子、学習状況等について情報交換をすることで、家庭と学校との相互理解を図りたいと考えております。是非、面談の後は、ご家庭でもお子さんと2学期を振り返る場を設けていただき、面談の内容を元に、お子さんの成長したところやこれから伸ばしていきたいところを伝えて、自信を持たせていただけるとありがたいです。

2学期も残すところ、あと約3週間となりました。子どもたちには、寒さに負けずに元気に登校して、学校生活を楽しんでほしいと思っています。体調を崩しやすい季節でもあります。また、コロナの第8波も心配されますので、お子さんの健康管理、どうぞよろしく願いいたします。



5年生 夢の教室 ～大友 愛先生からの熱いメッセージ～

11月24日（木）、5年生を対象にJFA ころこのプロジェクト「夢の教室」が行われました。

子どもたちと夢先生をオンラインでつなぎ、子どもたちに、先生の体験（夢との出会い・つらかったこと・苦しかったこと等）をふまえ、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さなどを伝えていただく授業です。

今回の夢先生は、アテネ・ロンドンの2つのオリンピックに出場し、ロンドンオリンピックでは銅メダルを見事獲得した、バレーボールの大友 愛先生でした。

「オリンピックでのメダル獲得！」という大きな夢をかなえるまでには、いいことばかりではなく、大きな挫折を味わったり、いくつもの壁があつたりしたとのこと。そして、それらを乗り越え、メダルを獲得するまでのお話は、とても興味深く、学ぶことが多い内容でした。

その中で、特に印象に残った言葉をひとつ、ご紹介します。

「今（子どもの頃）は、大きな夢が描けなかったとしても大丈夫。

いろんな事にチャレンジして、小さな『大好き』を見つけることが大事。小さな『大好き』を見つけていくことが、やがて大きな夢を描くことに繋がる。」

5年生は、目を輝かせて耳を傾けていました。素敵なお話、どうもありがとうございました。



学校だよりのカラー版は、本宮小学校ホームページでダウンロードできます。

本宮小学校



☆☆表彰集会☆☆

11月25日(金)の昼の時間、校内テレビ放送による表彰集会を実施しました。

今回、賞状を伝達したのは、次の皆さんです。おめでとうございます。

○第37回 WE LOVE トンボ絵画コンクール

朝日小学生新聞賞 5年 遠藤 千紘

○令和4年度 福島県児童作文コンクール

佳作 2年 佐藤 柚奈

佳作 4年 伊東 怜美

○令和4年度 南達地区交通安全作文コンクール

低学年の部 優秀賞 2年 近内 快衣

高学年の部 優秀賞 6年 近内 千夏

佳作 4年 宗像 美彩

○令和4年度 福島県読書感想文コンクール

準特選 3年 本多 晴

佳作 2年 根田丈太郎



学校運営協議会

「150周年で取り組んでみたいこと」

本宮小学校は来年、めでたく創立150周年を迎えます。

そこで、11月25日(金)の午後6時30分より学校運営協議会を開催し、12名の委員の方々、そして先生の代表が一堂に集まって、「150周年で取り組んでみたいこと」をテーマに熟議を実施しました。



特別な年にしかできない周年行事。ぜひ、子どもたちに喜んでもらうことはもちろん、保護者・地域の方々と

の絆を深めるような、お世話になっている卒業生、諸先輩方に感謝を伝えられるような……。そんな機会になったらいいなあと思ってはいるものの、5年や10年に1度しか開催されない周年行事において、いきなり最

高の企画が思いつくなんてことはなく、産みの苦しみに頭を抱えているところでした。

そこで、運営協議会委員の皆様にお知恵をお借りできないかと考え、今回の実施に至りました。

熟議では、「航空写真をとって、ノベルティグッズを作る」「記念誌」「ロゴマークやキャラクター」「モザイクアート」「プロジェクトマップ」「有名人を呼んでの記念講演」「記念樹」「タイムカプセル」「親子オリエンテーリング」等々、本当にたくさんのプランが提案されました。

皆さんの前向きさと、発想の豊かさが心地よく、大変、盛り上がった熟議となりました。

また、ふり返りの場面では、遠藤会長より「大人の考えたことに子どもたちが参加するというばかりではなく、子どもたち自身に、自分たちがやってみたいことを考えてもらうということも取り入れてほしい。」とのご意見をいただきました。忘れてはいけない、とても大切な部分です。是非、子どもの「主体性」という視点も大切にしながら、事業を推進したいとあらためて思いました。

学校運営協議会員の皆様、どうもありがとうございました！そして、これからも、どうぞよろしくお願ひします。

第16回青少年健全育成推進大会 少年の主張発表 「幸せって何だろう？」



11月27日(日) 第16回本宮市青少年健全育成推進大会が、サンライズもとみやで開かれ、6年生の根本華鈴さんが、「少年の主張」を発表しました。

根本さんが発表した主張のタイトルは、「幸せって何だろう？」。

自分では気づいていないだけで、幸せは意外と身近にあるもの。幸せが感じられるように、楽しいこと、うれしいことに意識的に目を向けること、前向きに生活することの大切さについて、力強く発表しました。

発表のトップバッターとして、とても緊張したことと思います。

でも、これまで練習した成果を発揮しての、堂々とした発表態度、とても立派でした。

今日の素晴らしい発表も、「自分なりの幸せ」に繋がったことでしょう。お疲れ様でした。

